

今を輝く人に聞く

10

まちひと ZOOM!!

世界中で今、子どもたちが熱いレースを繰り広げているスポーツ、ストライダー。見た目は小さな自転車ですが、ブレーキやペダルはなく、自分の足で地面を蹴って操る乗り物です。このストライダーで、日本中の大会で多数の入賞経験を持つのが、金子天音ちゃん・月音くん姉弟です。

ストライダーが世界的に注目されているのは、子どもたちの体幹を鍛え、バランス感覚が養われるという理由から。2人の両親も子どもたちの成長のため、ストライダーを始めさせたそうです。

ストライダーの面白さを月音くんは「コーナリング!」と元気に教えてくれました。逆に難しいところを聞くと、「転んだりすること」と天音ちゃん。コースは、地面の種類や障害物など開催地によって様々で、雨に濡れている場合は転ぶ選手も多数います。2人とも「勝ったら嬉しいけど、負けたら悔しい」と勝負心があり、悔しさに泣いたこともあります。練習を毎日1~2時間行い、週末は日本各地のレースに参加しているそうです。

そんな2人は、7月にアメリカのソルトレイクシティで開催されたワールドチャンピオンシップ

ストライダーで世界に挑んだ

かねこ あまね
金子 天音 ちゃん (5歳) 写真右
らいと
月音 くん (3歳) 写真左

[Profile] 両親と4人暮らし。好きな食べ物は天音ちゃんが果物、月音くんがゆで卵。

世界一の称号を獲得!
日々練習を積み重ね、



に出場。世界14か国から集まった選手の中から予選を勝ち抜き、2人とも決勝の13人に残りました。決勝戦では月音くんが多数のライバルを抑え優勝。世界一の称号を得ました。その時の気持ちを「追い抜いたときは嬉しかった」と話します。

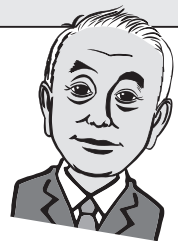
今後の目標は天音ちゃんが女子の中で1番になることで、月音くんがスタートダッシュを頑張ること。2人は、これからも切磋琢磨しながらレースに挑みます。

この夏、本市の児童生徒が国内外を訪問しました。姉妹都市の沖縄市には小学生、東海市には中学生が訪れ、アメリカ合衆国モーゼスレイク市には高校生が訪問しました。逆に、沖縄市の小学生が「雪国米沢体験」、東海市の中学生が「敬師の里への教育旅行」として本市を訪れ、モーゼスレイク市とは、相互交換留学としてお互いの家庭にホームステイをすることで国際交流を深めています。

姉妹都市以外にも青少年海外派遣事業としてオーストラリアに中学生、イギリスに高校生が短期留学をしました。また、平和都市宣言事業の一環として、各中学校から1人ずつ選ばれた8人の中学生が「長崎原爆の日」に現地を訪問し、式典に参加しました。戦争の悲惨さ、原爆の恐ろしさを学び、平和のありがたさを実感できたと思います。こうした派遣事業に参加した児童生徒は全体で37人です。国内においては気候風土、歴史文化、産業の成り立ちなどを学び、国外においては言語、宗教、多民族社会、食をはじめ生活様式の違いなどを体験できたことでしょう。その素晴らしい経験や想いは仲間にも伝えることでより意義のあるものになります。参加した皆さんは家族や学校、地域の皆さんへの感謝の気持ちを忘れることなく、この経験を糧に、次代を担う若者として成長されることを願います。

米沢市長 中川 勝

おしょうしな
よねざわ



今月のはなし
青少年交流に期待を